

文庫6
1342

源助可揚屋
生



隣れ爺々も不梅一本あり
エにて一艘の舟れ形なる
氣張ひよかせ秘藏せり
とふふのん
野枝こもるれ
の風味あり此画も
精神を寫し形を
畧せれを以て略画式と
字を

田菴主人





裸の形を畫く

けの畫法も

ふきとまり

ながく人形

肉付は愛へ

たやれ法なき

こゝろ

○初は四角の

卦を引れ其内へ

十六方卦

琴盤同のどく

引け卦よか

裸の形を畫く

事圖乃

そこの画意

ふもけ通

長がけ

さうの刻

そこのさ

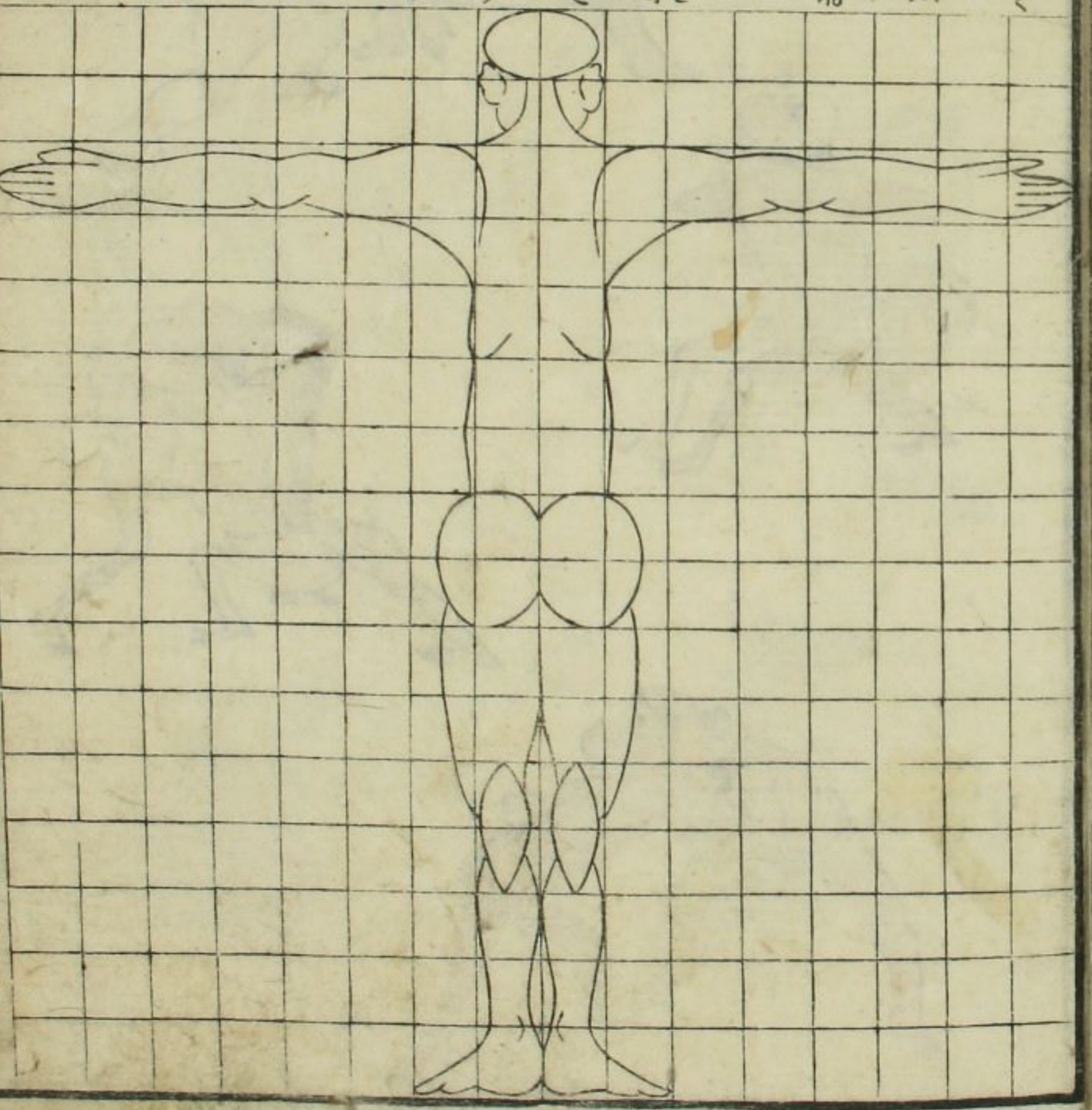
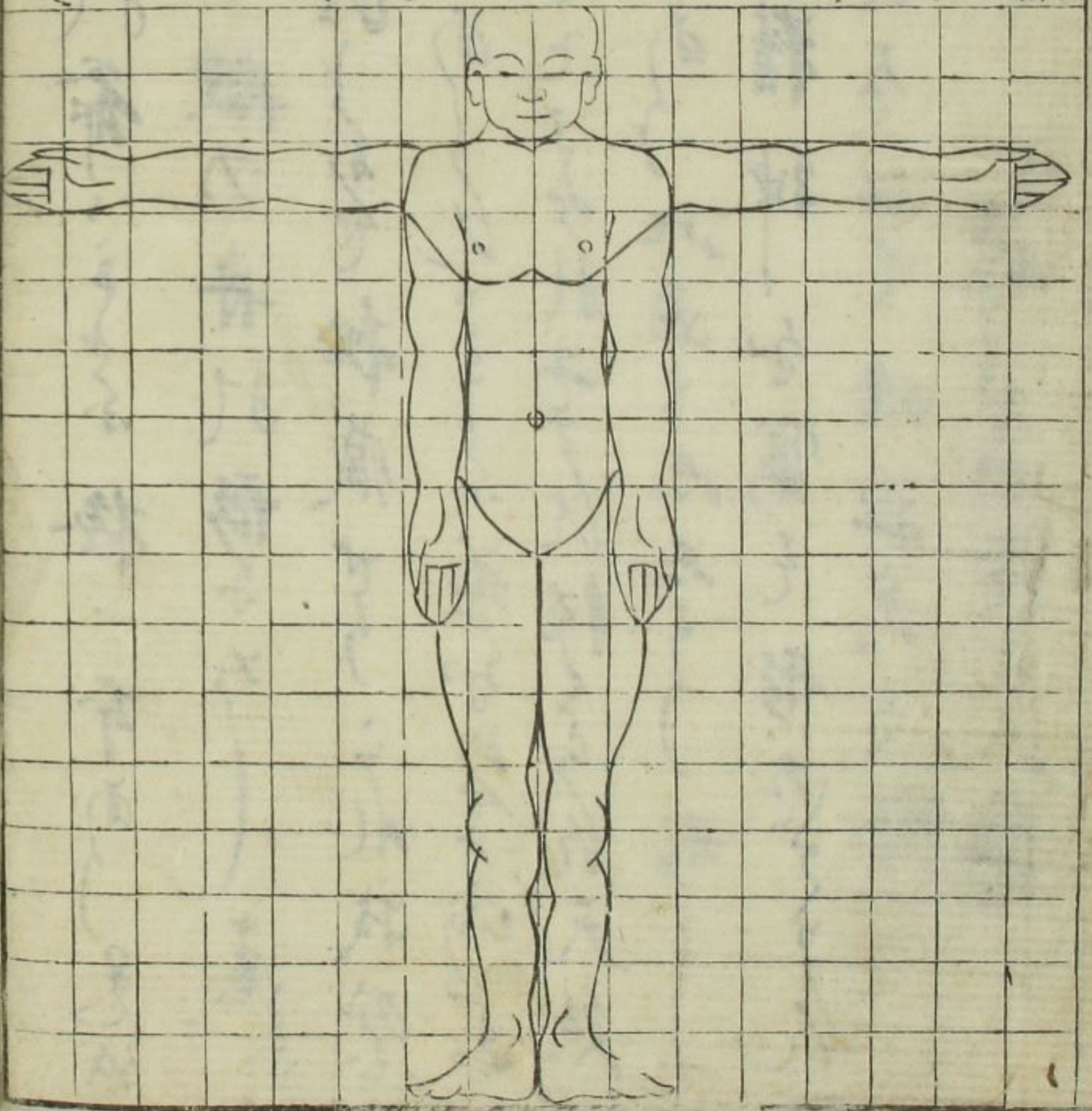
功者小

写生を

事をする

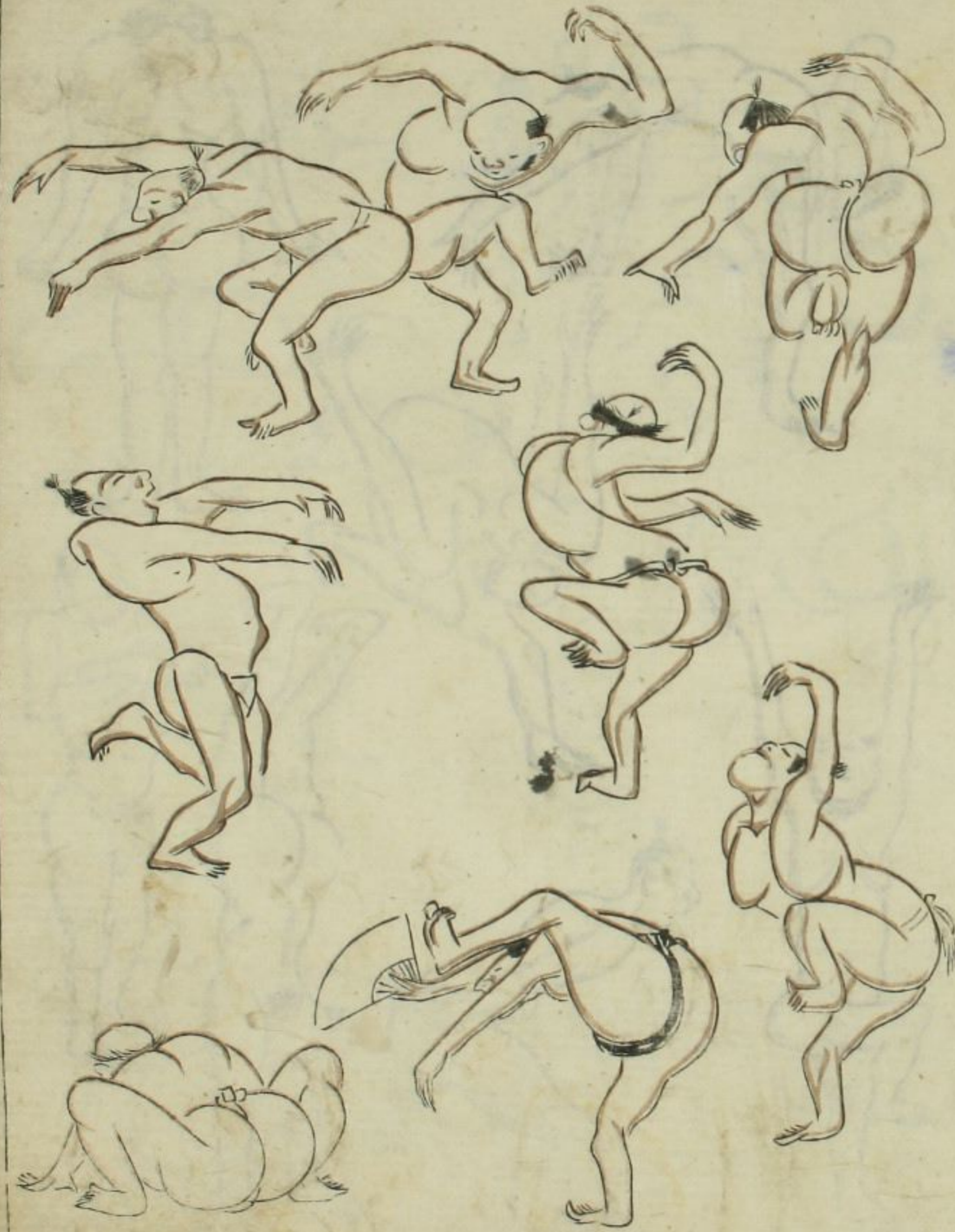
こと全

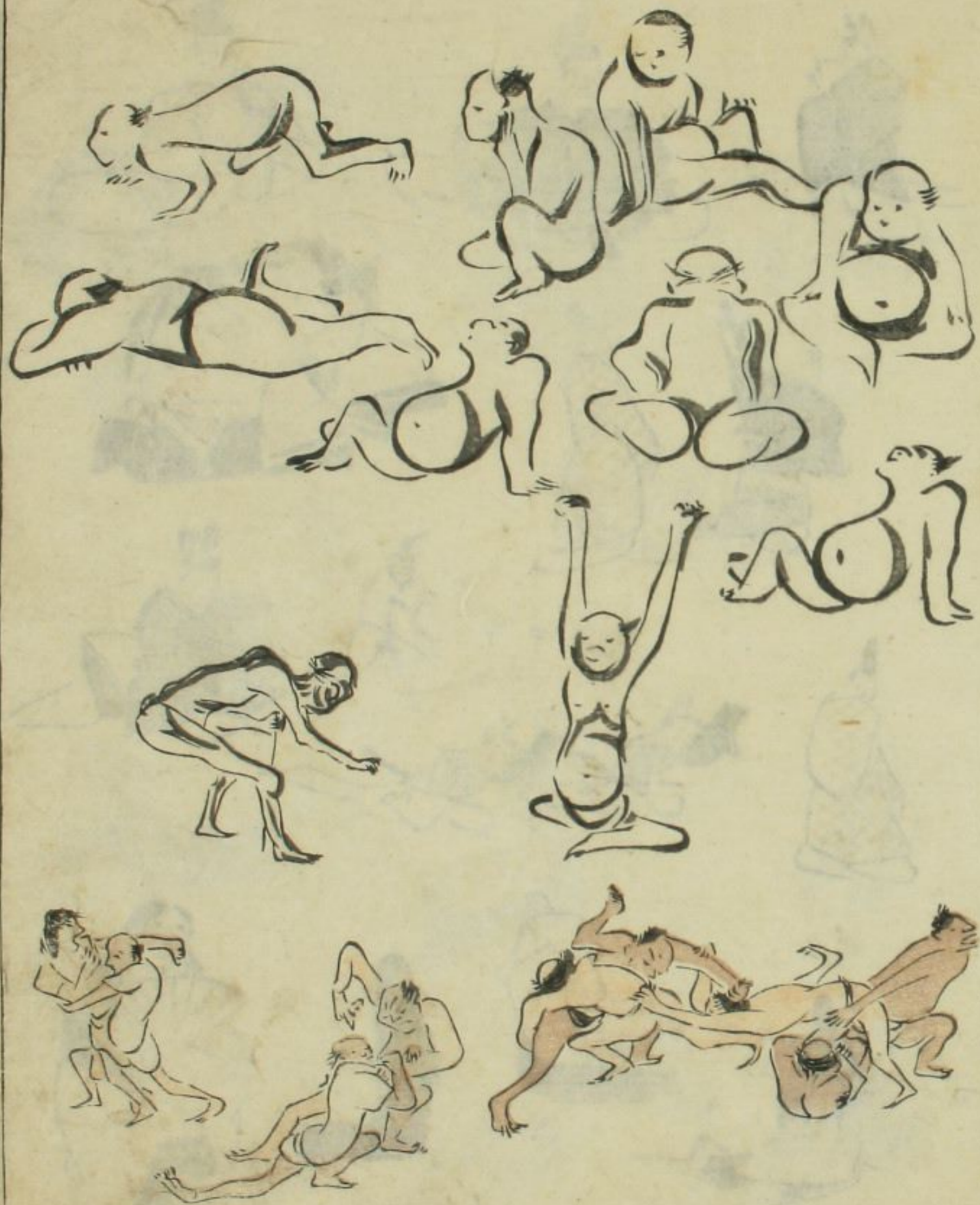
の用





生
丁
目





桐
森
下
生

















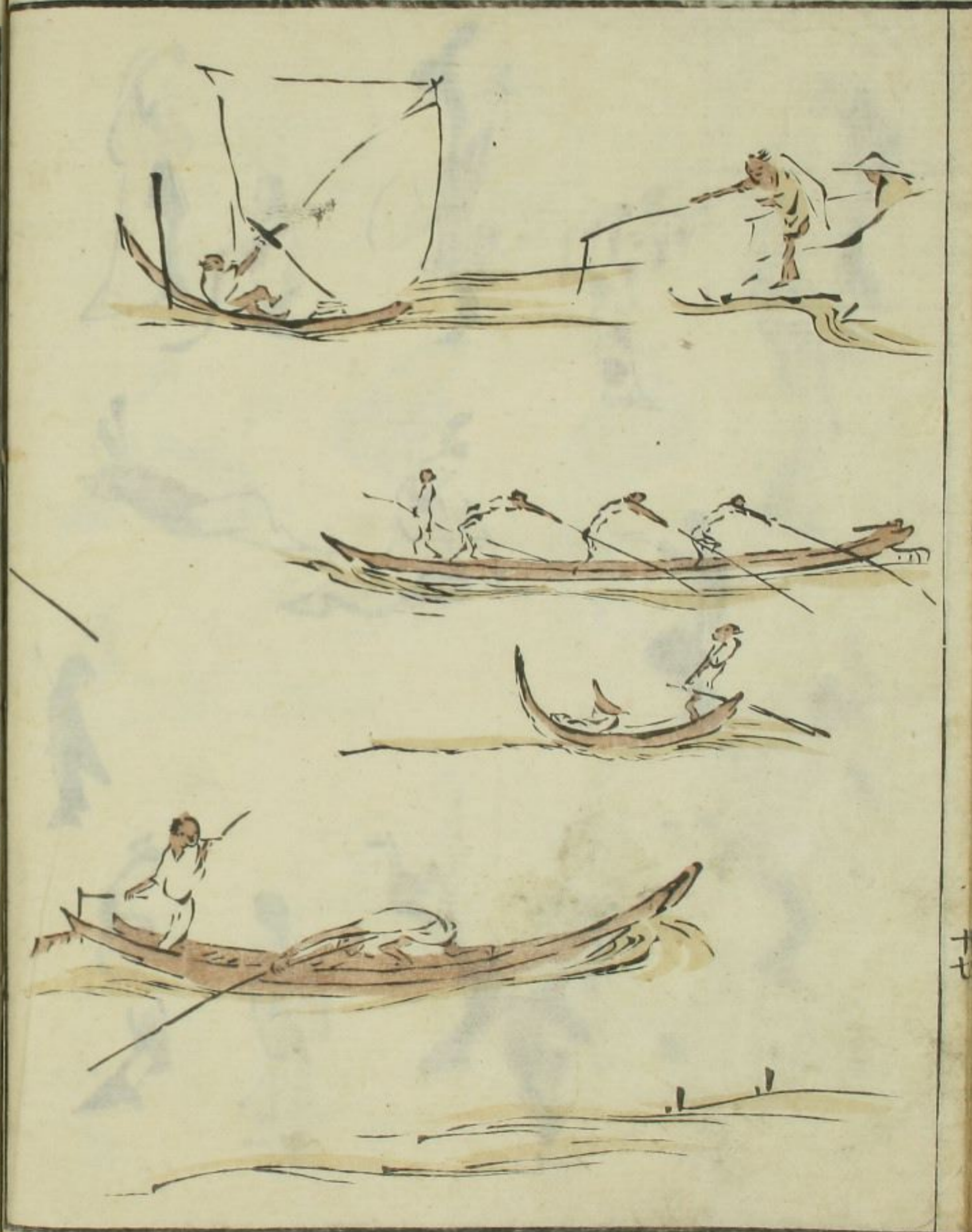
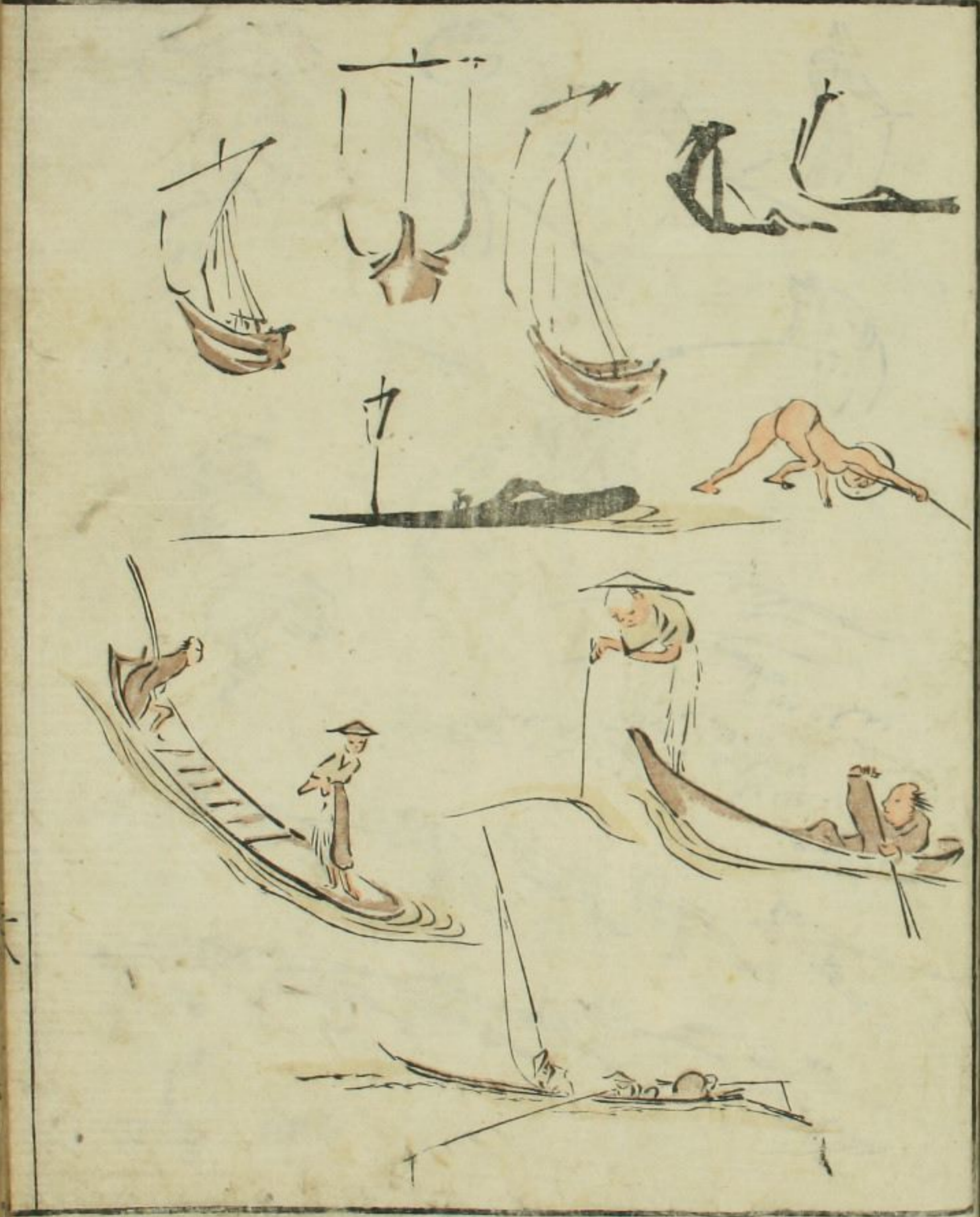
生
下
林
相
四
一
日

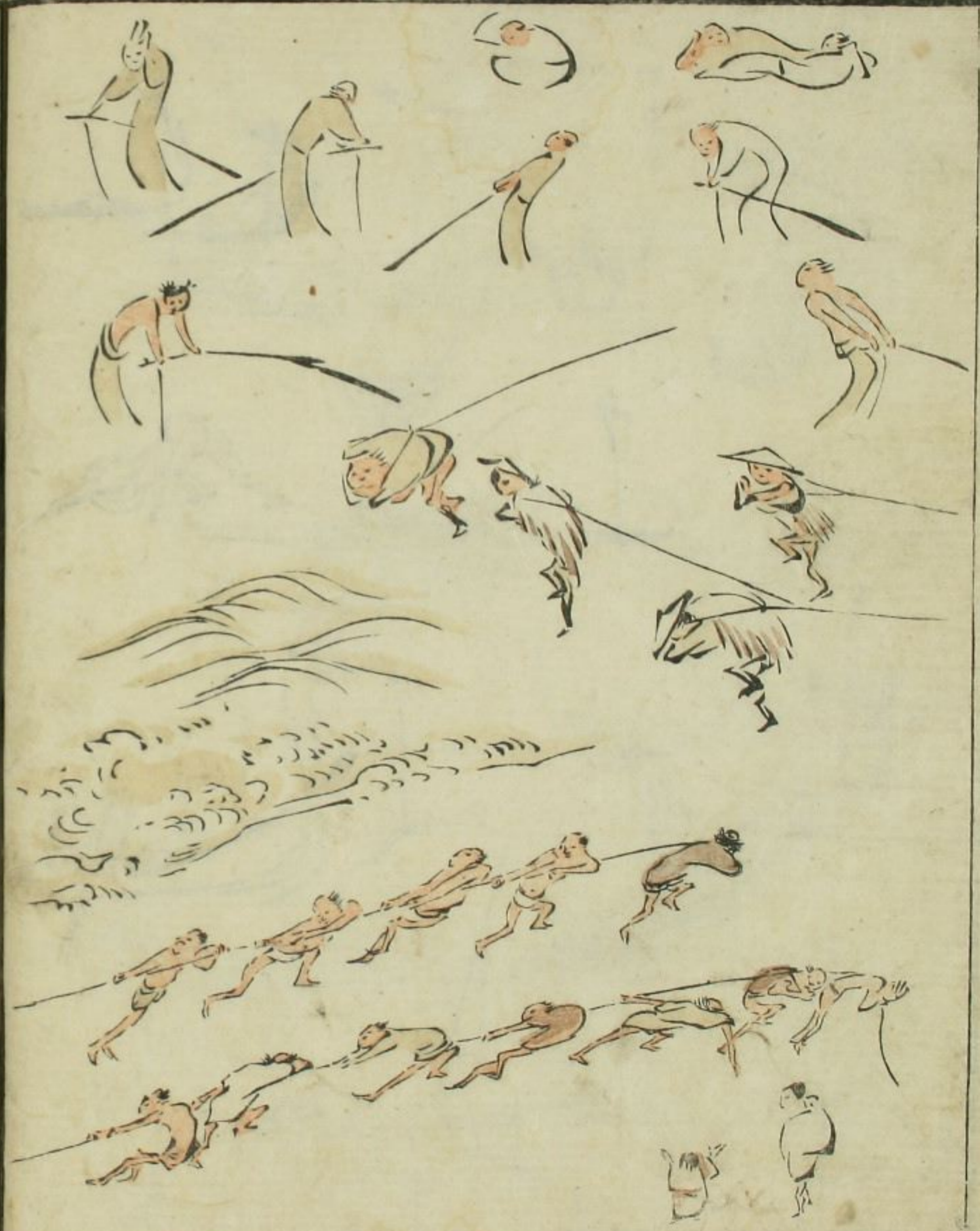




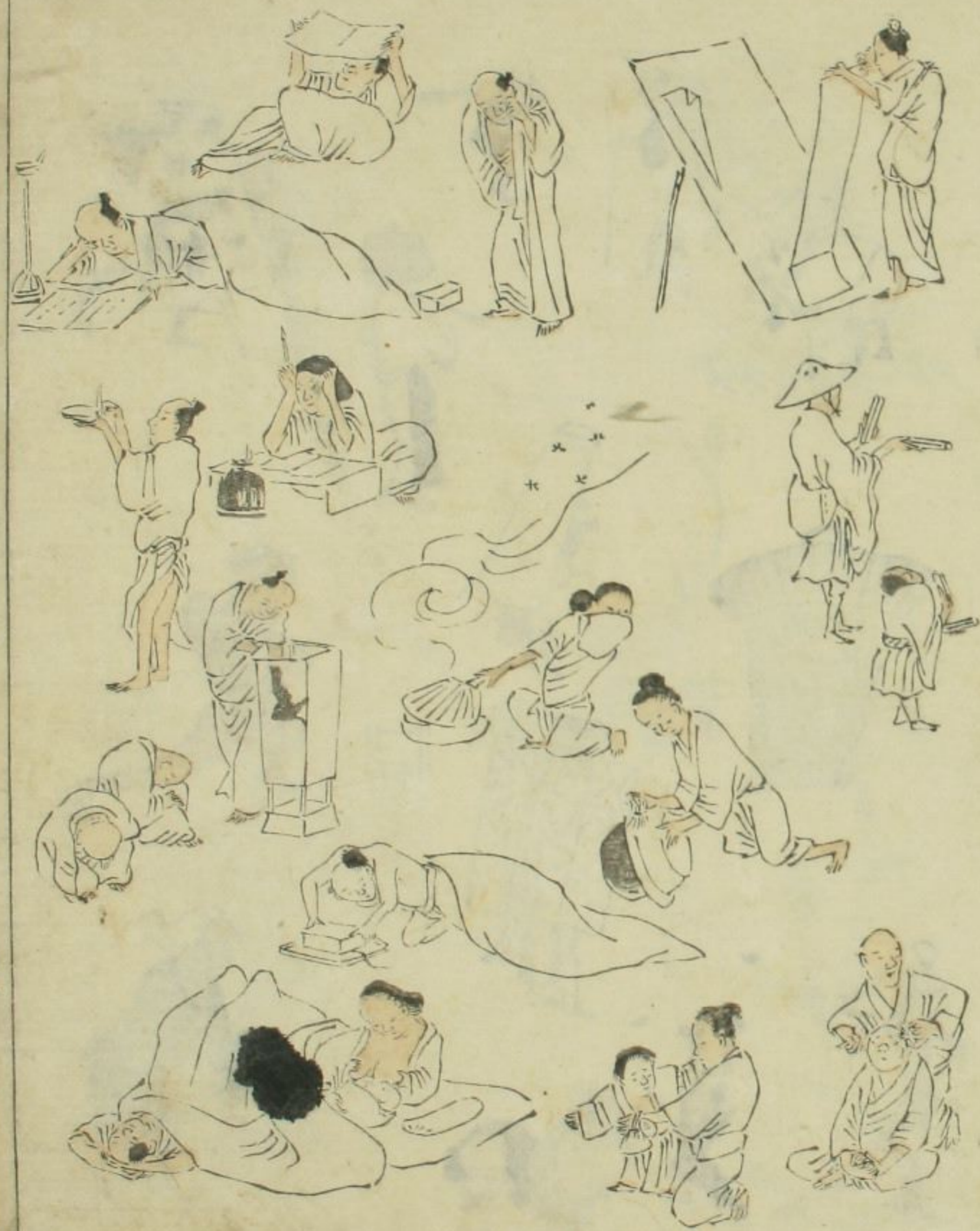






















東都三園



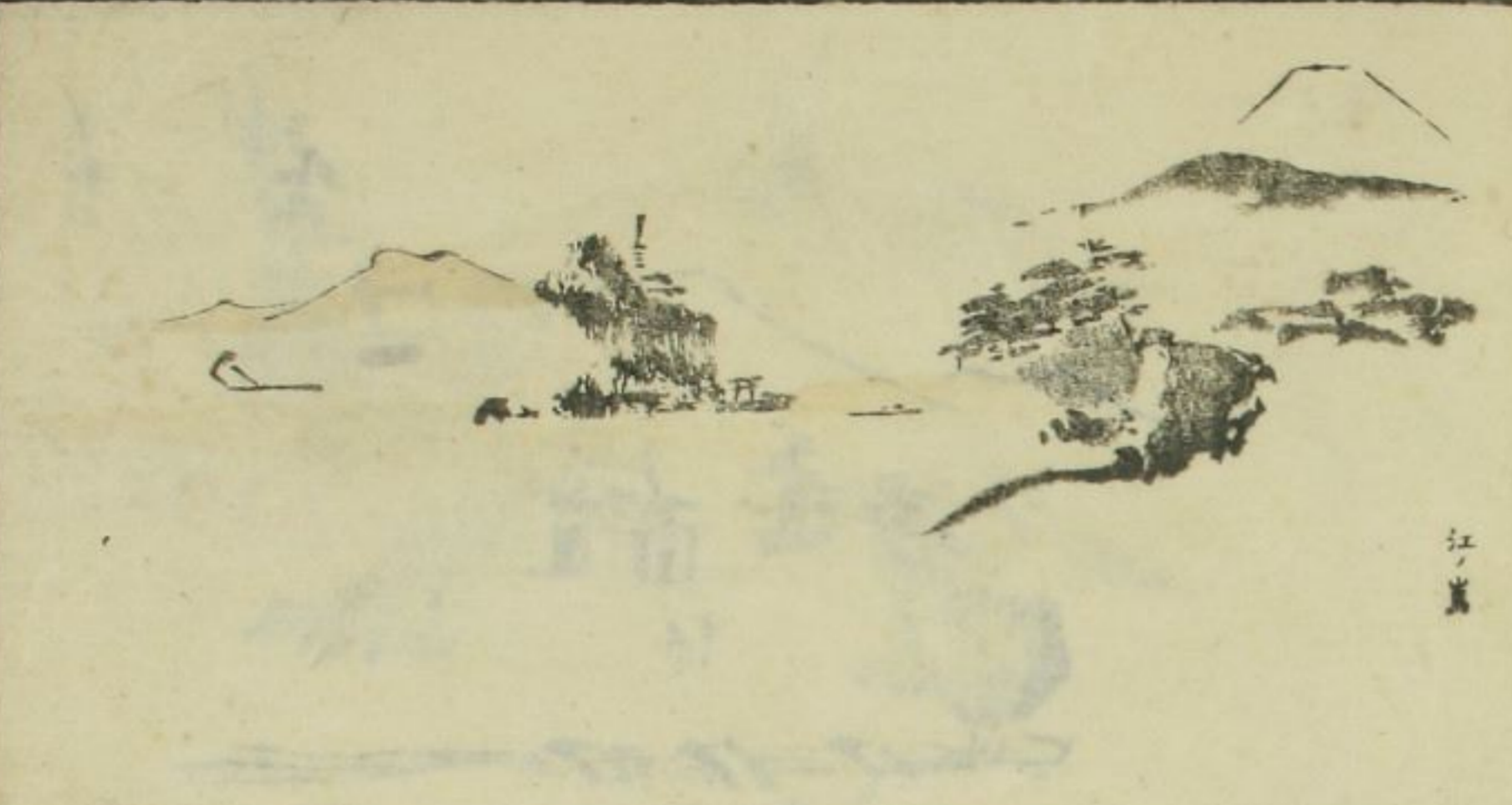
永代橋



忍心園



三十五



江ノ島



近江八景



新吉原



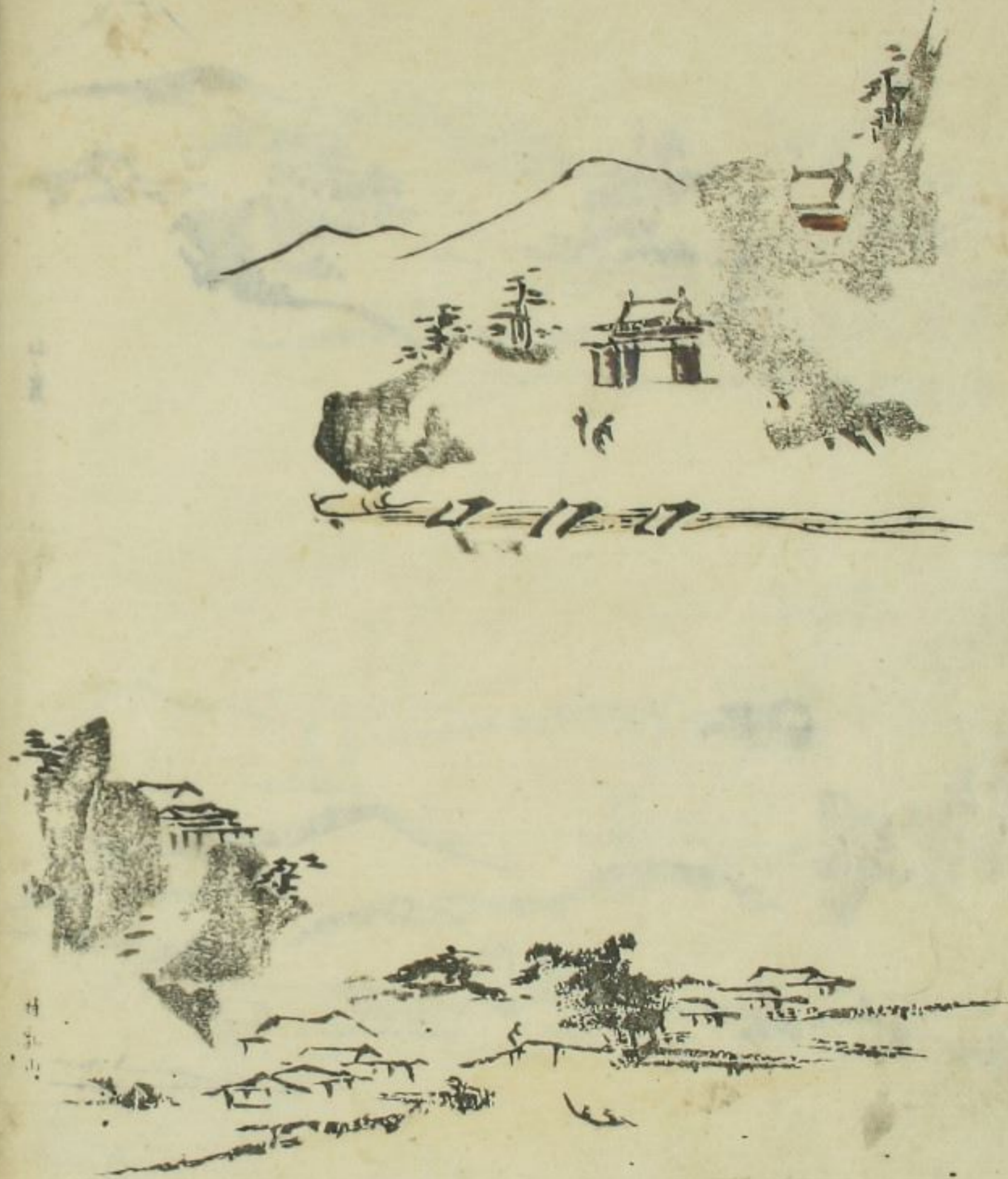
高名輪



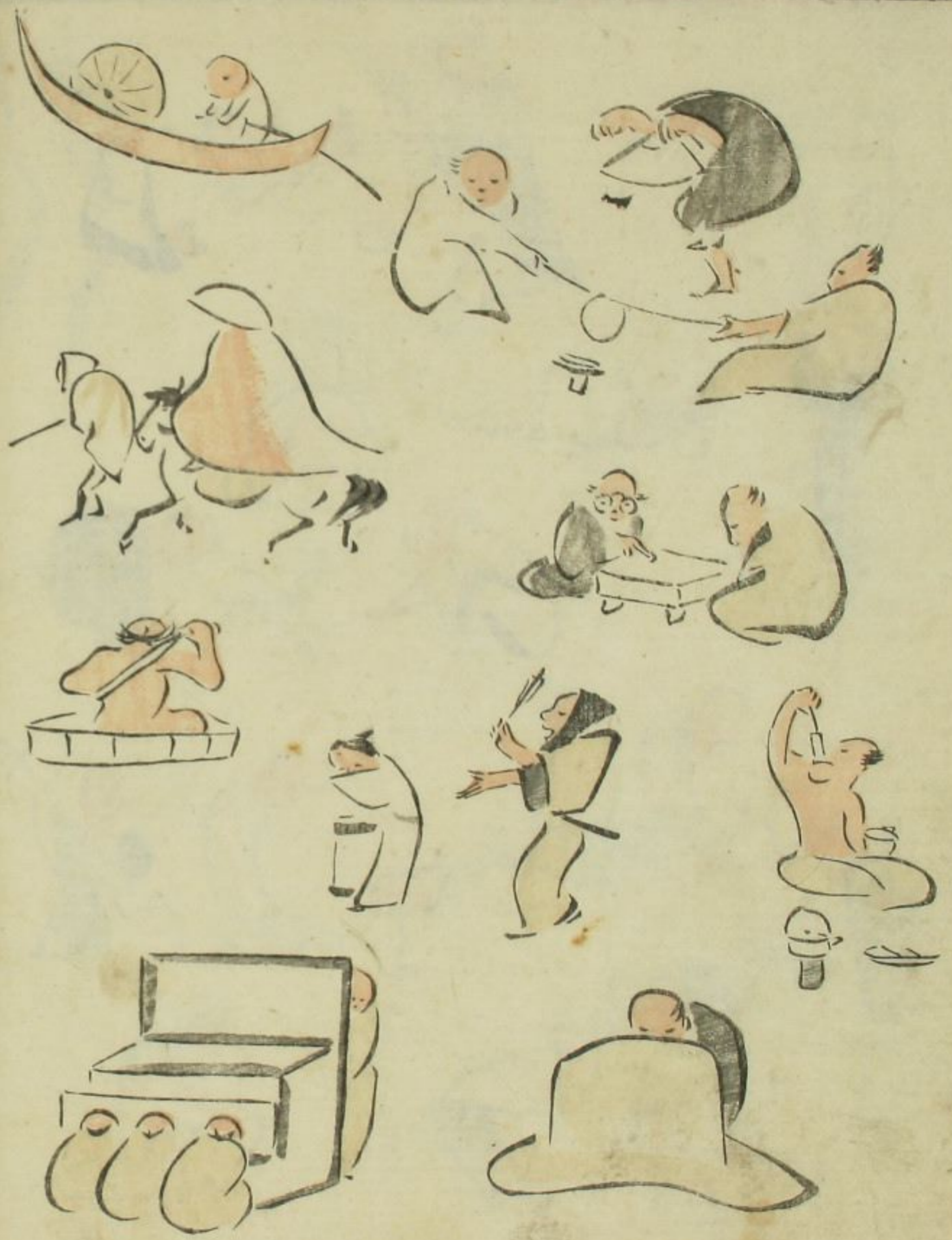
浅草寺



東
嶽
山







Faint handwritten text at the top left of the left page.



Faint vertical text on the left margin of the left page.





寛政七年乙卯臘月

東都

蕙齋北尾政美

副刷 春風堂野代柳湖



東都書林

日本橋室町二丁目

須原屋市兵衛板

二丁目九番地 春風堂

諸用文通

山家倫 摘正致草 一冊

世に用文事多しといへども其又之を以て其用として所存のるに合はれ此の年々今昔の別をみまのこ紙葉を月の異名時候の異を以て今も文之の位を知らぬ者多し其用を知るを

諸國書状

右同草 一冊

此書中用文事小圃に法を記す其の文之を以て源又は源流の文章集集未記に世に月の異名時候の異なる文之の用法高貴の節用を加へ此用文を不持しめばはる少いれども此用文の使ふ所は小圃に記す其の用法を詳しに記す

高賣往來

右同草 一冊

俳諧宛をたる

吾山 二冊

カネ

此書は源流の文章集集未記に世に月の異名時候の異なる文之の用法高貴の節用を加へ此用文を不持しめばはる少いれども此用文の使ふ所は小圃に記す其の用法を詳しに記す

和漢大成年代廣記

右の子 一枚

西面年代記大成

右の子 一枚

日本地名便覽

右の子 一枚

百人一首解

栗本英輝著 一冊

畧画式

惠齋画 一冊

同職人づく

右同草 一冊

禽獸畧画式

右同草 一冊

〇九又

九又

早稲田大学図書館

011688993948